



香川大学創造工学部主催

ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想 連携推進シンポジウム

ジオパークは大地の成り立ちから、地域の強みと弱みを知り、強みを地方創生に、弱みを防災教育に活用し、地域の持続可能な発展をめざす活動である。本シンポジウムでは、香川大学で取り組んでいる防災まちあるき(ブラハセ)、アートの視点から見た地域振興を讃岐ジオパーク構想と融合させ、地方創生の新たな連携体制の構築を目指します。

- 13:30-13:35 主催者あいさつ
- 13:35-13:40 来賓あいさつ
- 13:40-14:20 基調講演「讃岐ジオパーク構想は何を目指しているのか」
香川大学創造工学部防災・危機管理コース教授 長谷川 修一
- 14:20-14:40 防災・危機管理コース1, 2年生による「ブラハセ」事例報告
-高松市鬼無、高松城下、倉敷市真備町-
日野田 圭祐, 国土 真希, 福井 文菜
- 14:40-15:00 「小豆島農村歌舞伎舞台の風土に根ざした演劇」
香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース講師 柴田 悠基
- 15:00-15:05 香川大学公認「讃岐ジオガイド」授与式
- 15:05-15:20 休憩
- 15:20-16:25 パネルディスカッション
ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想の連携による地方創生
コーディネーター: 香川大学経済学部教授 原 直行
パネリスト : 小豆島狛犬探究会会長 山西 輝美
伊吹小・中学校講師 篠原 五良
香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース講師 柴田 悠基
香川大学創造工学部防災・危機管理コース2年生 日野田 圭祐



農村歌舞伎棟敷(小豆島町中山)

令和2年

2月16日 日

入場無料

13:30-16:30

※ 受付は13:00から開始します。

高松市生涯学習センター
まなびCAN

(高松市片原町11番地1:ことடன்「片原町」駅から南西へ徒歩1分)
※ 公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

申込み・問合せ 香川大学創造工学部 長谷川, 鶴田
TEL 087-864-2155, FAX 087-864-2188, E-mail: tsuruta@eng.kagawa-u.ac.jp

※ 令和2年2月6日(木)までにお申し込みください(先着200名)。



防災まちあるき「ブラハセ」(高松市鬼無町)



主催: 香川大学創造工学部

共催: 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構, 讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

後援: 香川県, 香川県教育委員会, 高松市, 高松市教育委員会, 放送大学香川学習センター, NHK高松放送局, RNC西日本放送, KSB瀬戸内海放送, RSK山陽放送, OHK岡山放送, TSCテレビせとうち, 四国新聞社, 読売新聞高松総局, 朝日新聞高松総局, 毎日新聞高松支局, 国土交通省香川河川国道事務所, (一社)四国クリエイト協会, 日本応用地質学会中国四国支部, 香川県技術士会, 香川県防災士会, かがわ自主ぼう連絡協議会

シンポジウム参加申込書

ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想 連携推進シンポジウム

申込締切：令和2年2月6日（木）

シンポジウムお申込みは、必要事項を明記の上、E-mailまたはFAXでご連絡下さい。

お申込み順で受け付け、定員に達し次第申込みを打ち切ります。

香川大学創造工学部 鶴田 宛

E-mail：tsuruta@eng.kagawa-u.ac.jp

FAX：087-864-2188

お住まいの市町名	所属	氏名

※ ご記入いただいた個人情報につきましては、今回のみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。